

## 別添4. レファレンスアプローチと部門別アプローチの比較とエネルギー収支

ここでは、UNFCCC インベントリ報告ガイドライン (FCCC/SBSTA/2006/9) のパラ 31 に則り、レファレンスアプローチと部門別アプローチの比較を行う。

### 4.1. 燃料消費量の差異について

燃料消費量の差異の変動幅は、-1.22%~0.55%となっている。諸外国のインベントリデータと比較すると相対的に低い値といえる。

石炭系燃料（固体燃料）の差異の 2004 年度の値（5.4%）は飛び抜けて大きな値となっているが、これは製造業の輸入一般炭（\$130）消費在庫が大きく積み増されたためである。

表 1 燃料消費量の比較

[10 <sup>18</sup> J]	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
<b>レファレンスアプローチ</b>										
石油系燃料	9,528	10,113	9,429	9,154	9,160	9,064	8,772	8,802	8,204	8,203
石炭系燃料	3,291	3,626	4,189	4,281	4,424	4,553	4,981	4,748	4,806	5,020
天然ガス系燃料	2,088	2,526	3,125	3,121	3,206	3,355	3,343	3,378	3,735	4,070
その他の燃料	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
<b>合計</b>	<b>14,908</b>	<b>16,265</b>	<b>16,742</b>	<b>16,557</b>	<b>16,791</b>	<b>16,972</b>	<b>17,096</b>	<b>16,927</b>	<b>16,744</b>	<b>17,293</b>
<b>部門別アプローチ</b>										
石油系燃料	9,550	10,051	9,450	9,133	9,275	9,094	8,934	8,903	8,390	8,402
石炭系燃料	3,354	3,635	4,118	4,221	4,485	4,607	4,724	4,811	4,791	4,959
天然ガス系燃料	2,106	2,548	3,136	3,137	3,238	3,371	3,371	3,368	3,756	4,106
その他の燃料	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE
<b>合計</b>	<b>15,010</b>	<b>16,234</b>	<b>16,705</b>	<b>16,490</b>	<b>16,998</b>	<b>17,072</b>	<b>17,029</b>	<b>17,082</b>	<b>16,936</b>	<b>17,466</b>
<b>差異 (%)</b>										
石油系燃料	-0.22%	0.61%	-0.23%	0.23%	-1.24%	-0.33%	-1.81%	-1.14%	-2.22%	-2.37%
石炭系燃料	-1.86%	-0.24%	1.72%	1.43%	-1.36%	-1.18%	5.44%	-1.32%	0.32%	1.23%
天然ガス系燃料	-0.88%	-0.87%	-0.38%	-0.49%	-0.97%	-0.48%	-0.83%	0.29%	-0.57%	-0.86%
その他の燃料	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
<b>合計</b>	<b>-0.68%</b>	<b>0.19%</b>	<b>0.22%</b>	<b>0.40%</b>	<b>-1.22%</b>	<b>-0.59%</b>	<b>0.39%</b>	<b>-0.91%</b>	<b>-1.13%</b>	<b>-0.99%</b>

### 4.2. CO<sub>2</sub>排出量の差異について

CO<sub>2</sub>排出量の差異の変動幅は、-2.18%~-0.07%となっている。2009年提出インベントリより、エネルギーとして利用された廃棄物及びエネルギー回収を伴う廃棄物焼却からのCO<sub>2</sub>排出量を、1996年改訂IPCCガイドライン及びGPG（2000）に従い、従来の廃棄物の焼却（カテゴリー6.C.）ではなく、燃料の燃焼（カテゴリー1.A.）にて計上している。そのため、部門別アプローチの排出量及びレファレンスアプローチと部門別アプローチの差異が、従来のインベントリから変更となっている。

石炭系燃料（固体燃料）の差異の 2004 年度の値（4.6%）は、飛び抜けて大きな値となっているが、これは燃料消費量と同様に製造業の輸入一般炭（\$130）消費在庫が大きく積み増されたためである。

表 2 CO<sub>2</sub>排出量の比較

[百万t CO <sub>2</sub> ]	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
<b>レファレンスアプローチ</b>										
石油系燃料	648.2	687.0	641.8	623.0	623.1	616.8	597.3	599.1	558.2	558.8
石炭系燃料	296.2	326.0	378.7	386.7	400.1	411.7	451.1	429.7	435.0	454.5
天然ガス系燃料	103.2	124.9	154.5	154.3	158.5	165.9	165.3	167.0	184.7	201.3
その他の燃料	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
<b>合計</b>	<b>1,048</b>	<b>1,138</b>	<b>1,175</b>	<b>1,164</b>	<b>1,182</b>	<b>1,194</b>	<b>1,214</b>	<b>1,196</b>	<b>1,178</b>	<b>1,215</b>
<b>セクター別アプローチ</b>										
石油系燃料	646.2	677.3	635.1	613.1	622.9	611.4	600.4	598.2	562.5	564.1
石炭系燃料	308.6	331.7	376.5	385.0	409.8	419.9	431.4	438.2	437.0	451.9
天然ガス系燃料	104.3	126.2	155.3	155.3	160.4	167.0	166.9	166.8	186.4	203.3
その他の燃料	8.9	10.4	13.1	14.2	15.1	16.0	15.8	15.4	15.6	16.0
<b>合計</b>	<b>1,068</b>	<b>1,146</b>	<b>1,180</b>	<b>1,168</b>	<b>1,208</b>	<b>1,214</b>	<b>1,215</b>	<b>1,219</b>	<b>1,202</b>	<b>1,235</b>
<b>差異 (%)</b>										
石油系燃料	0.31%	1.42%	1.05%	1.63%	0.04%	0.88%	-0.52%	0.15%	-0.77%	-0.93%
石炭系燃料	-4.02%	-1.73%	0.57%	0.44%	-2.36%	-1.95%	4.57%	-1.96%	-0.47%	0.57%
天然ガス系燃料	-1.02%	-1.03%	-0.50%	-0.63%	-1.13%	-0.69%	-0.97%	0.11%	-0.92%	-0.99%
その他の燃料	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
<b>合計</b>	<b>-1.91%</b>	<b>-0.68%</b>	<b>-0.43%</b>	<b>-0.30%</b>	<b>-2.18%</b>	<b>-1.64%</b>	<b>-0.07%</b>	<b>-1.88%</b>	<b>-1.97%</b>	<b>-1.67%</b>

### 4.3. 燃料消費量の差異及びCO<sub>2</sub>排出量の差異の比較

燃料消費量の差異とCO<sub>2</sub>排出量の差異は概ね同じ傾向を示している。

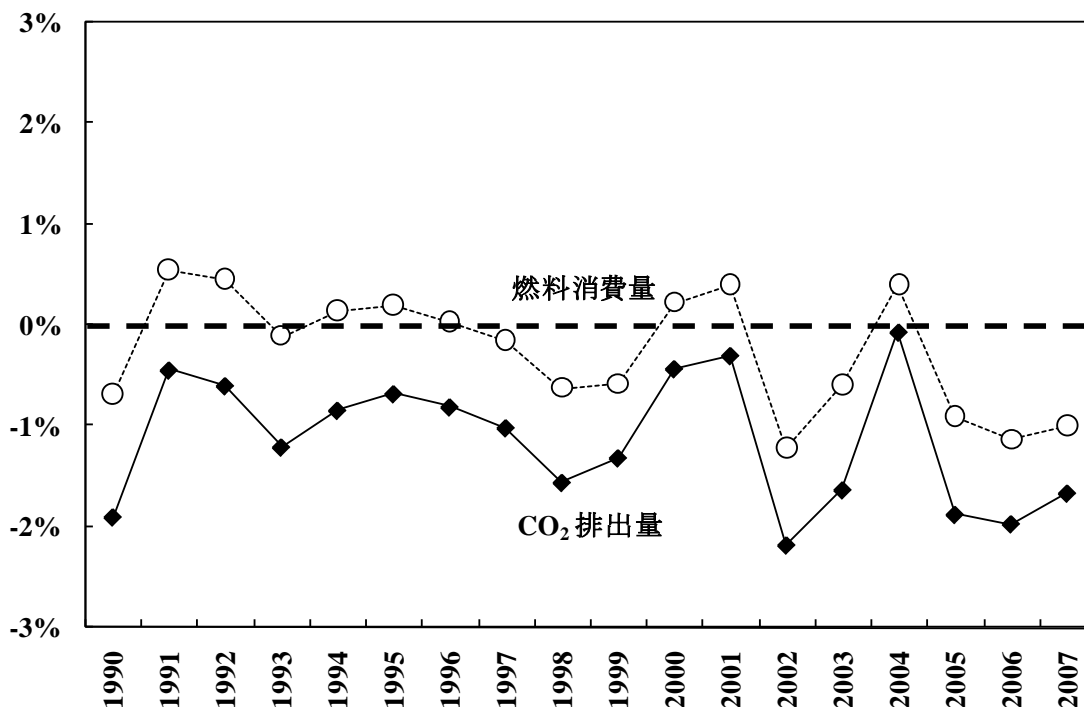


図 1 燃料消費量の差異及びCO<sub>2</sub>排出量の差異の推移

#### 4.4. レファレンスアプローチと部門別アプローチの差異の原因について

わが国のインベントリで、レファレンスアプローチと部門別アプローチの燃料消費量、CO<sub>2</sub>排出量に差異が出る原因は、原料及び非エネルギー用として控除される炭素量の差、及びインベントリの作成に用いられるエネルギーバランス表（総合エネルギー統計）の「他転換・品種振替（#2700）」、「他転換増（#3000）」、「消費在庫変動（#3500）」「統計誤差（#4000）」及び「石油製品製造（#2600）」のエネルギー損失および炭素収支誤差である。

##### ■レファレンスアプローチの計算で考慮されないもの

わが国のレファレンスアプローチの計算では、国内に供給されたエネルギー量のうち非燃焼用途を除いた量が全て燃焼されたと仮定して計算しているが、実際には燃焼されずに備蓄されている量があり、その積み増し、取り崩しがレファレンスアプローチには反映されない。

###### 【他転換増減（#3000）】

当該部門には、エネルギー転換部門における、消費・販売部門からの返品、製造業等における副産エネルギー源の受入、備蓄の増減などによるエネルギー源の出荷・払出量の増減が計上されているが、レファレンスアプローチではこの増減が考慮されていない。

###### 【消費在庫変動（#3500）】

在庫の積み増し、取り崩しの量がレファレンスアプローチでは考慮されていない。

また、エネルギーとして利用された廃棄物及びエネルギー回収を伴う廃棄物焼却からのCO<sub>2</sub>排出量は、焼却された廃油、廃プラスチック、廃タイヤ、合成繊維くず等に含まれる炭素分に由来するものであるが、これらの炭素分は、現在のレファレンスアプローチの計算における原料用及び非エネルギー用の炭素量の控除において十分に考慮されていない可能性がある。レファレンスアプローチにおける原料用及び非エネルギー用の炭素固定分の算定方法については、今後検討及び改善が必要である。

##### ■調査データの性質上避けられないもの

###### 【統計誤差（#4000）】

統計誤差には本来各種統計調査の段階で本質的に含まれている誤差（本源誤差）及び供給・転換・消費に関する各統計相互間の不整合であってその帰属を推計することが困難であるもの（相対誤差）が存在する。この誤差のため、国内供給、転換、最終エネルギー消費に不整合量が生じ、両アプローチの差異として計上される。

##### ■投入側と産出側のエネルギー・炭素収支に差があるもの

###### 【他転換・品種振替（#2700）】

当該部門には、混合・調湿等の操作による品種振替や、#2100 事業用発電～#2600 石油精製・化学のいずれにも属さないエネルギー転換が計上されている。炭素重量は品種振替、転換前後で変化しないと考えられるが、品種振替等に伴い、対応する発熱量当たりの炭素含有量が増加することにより、統計上品種振替、転換前後で炭素重量が増加する可能性がある。この差が両アプローチの差の原因となる。

###### 【石油製品製造（#2600）】

エネルギー・炭素収支に損失があり、供給側と消費側に差が出る。

表3 CO<sub>2</sub>排出量の比較(詳細)

	[Gg-CO <sub>2</sub> ]									
	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
<b>RA</b>	<b>1,047,665</b>	<b>1,137,864</b>	<b>1,174,906</b>	<b>1,163,992</b>	<b>1,181,761</b>	<b>1,194,369</b>	<b>1,213,677</b>	<b>1,195,817</b>	<b>1,177,816</b>	<b>1,214,608</b>
石油系	648,201	686,979	641,758	623,033	623,126	616,782	597,298	599,138	558,156	558,844
石炭系	296,228	325,991	378,670	386,654	400,092	411,694	451,087	429,657	434,980	454,488
ガス系	103,236	124,893	154,478	154,304	158,543	165,894	165,292	167,022	184,680	201,276
その他	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
<b>SA</b>	<b>1,068,019</b>	<b>1,145,682</b>	<b>1,180,026</b>	<b>1,167,535</b>	<b>1,208,149</b>	<b>1,214,241</b>	<b>1,214,534</b>	<b>1,218,738</b>	<b>1,201,534</b>	<b>1,235,227</b>
石油系	646,223	677,349	635,121	613,057	622,889	611,372	600,423	598,218	562,478	564,064
石炭系	308,620	331,721	376,537	384,963	409,770	419,869	431,353	438,247	437,025	451,893
ガス系	104,301	126,198	155,261	155,279	160,359	167,045	166,918	166,837	186,389	203,287
その他	8,875	10,415	13,108	14,236	15,131	15,955	15,840	15,436	15,643	15,983
<b>RA-SA</b>	<b>-20,354</b>	<b>-7,818</b>	<b>-5,120</b>	<b>-3,543</b>	<b>-26,389</b>	<b>-19,872</b>	<b>-856</b>	<b>-22,921</b>	<b>-23,719</b>	<b>-20,620</b>
石油系	1,978	9,631	6,638	9,976	236	5,410	-3,124	920	-4,322	-5,221
石炭系	-12,392	-5,730	2,133	1,692	-9,678	-8,175	19,733	-8,590	-2,045	2,595
ガス系	-1,065	-1,304	-783	-975	-1,816	-1,152	-1,626	185	-1,709	-2,011
その他	-8,875	-10,415	-13,108	-14,236	-15,131	-15,955	-15,840	-15,436	-15,643	-15,983
<b>統計誤差</b>	<b>-11,299</b>	<b>4,490</b>	<b>-1,700</b>	<b>-1,523</b>	<b>-11,915</b>	<b>-8,074</b>	<b>-10,165</b>	<b>-15,829</b>	<b>-10,516</b>	<b>-15,259</b>
石油系	-3,708	3,839	-5,664	-5,292	-12,641	-10,667	-15,986	-15,622	-18,633	-22,611
石炭系	-7,630	415	3,473	3,323	276	2,248	5,334	-685	8,638	7,425
ガス系	39	236	491	446	450	346	488	478	-521	-73
<b>他転換・品種振替</b>	<b>-2,828</b>	<b>-3,076</b>	<b>-1,189</b>	<b>-1,277</b>	<b>-782</b>	<b>-775</b>	<b>-601</b>	<b>-1,104</b>	<b>-1,224</b>	<b>-1,464</b>
石油系	803	1,058	1,119	1,091	1,136	1,171	1,161	1,213	1,175	1,117
石炭系	-2,807	-3,078	-1,121	-1,168	-709	-709	-546	-1,059	-1,131	-1,361
ガス系	-825	-1,056	-1,186	-1,201	-1,210	-1,237	-1,216	-1,258	-1,267	-1,220
<b>消費在庫変動</b>	<b>2,286</b>	<b>768</b>	<b>2,650</b>	<b>4,206</b>	<b>-9,464</b>	<b>-7,856</b>	<b>15,924</b>	<b>-3,429</b>	<b>-5,706</b>	<b>-3,971</b>
石油系	788	1,311	-976	1,209	-3,753	-1,853	-2,369	272	2,233	-1,293
石炭系	1,515	-353	3,359	2,850	-5,028	-6,126	18,808	-5,084	-8,421	-2,334
ガス系	-18	-190	268	148	-683	123	-515	1,383	482	-344
<b>他転換増減</b>	<b>-895</b>	<b>-642</b>	<b>2,106</b>	<b>623</b>	<b>1,878</b>	<b>2,010</b>	<b>1,625</b>	<b>2,665</b>	<b>-1,355</b>	<b>1,224</b>
石油系	-895	-642	2,106	623	1,878	2,010	1,625	2,665	-1,355	1,224
石炭系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>石油製品製造</b>	<b>1,257</b>	<b>1,057</b>	<b>6,121</b>	<b>8,664</b>	<b>9,025</b>	<b>10,777</b>	<b>8,201</b>	<b>10,211</b>	<b>10,724</b>	<b>14,833</b>
石油系	1,518	1,351	6,476	9,032	9,399	11,162	8,583	10,629	11,128	15,207
石炭系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス系	-261	-294	-355	-368	-374	-385	-382	-418	-403	-374
<b>合計</b>	<b>-11,478</b>	<b>2,597</b>	<b>7,988</b>	<b>10,693</b>	<b>-11,258</b>	<b>-3,917</b>	<b>14,983</b>	<b>-7,485</b>	<b>-8,076</b>	<b>-4,637</b>
石油系	-1,493	6,917	3,060	6,663	-3,981	1,822	-6,986	-843	-5,453	-6,357
石炭系	-8,921	-3,016	5,711	5,005	-5,461	-4,587	23,595	-6,828	-914	3,731
ガス系	-1,064	-1,304	-783	-975	-1,816	-1,152	-1,626	185	-1,709	-2,011
<b>分析結果の差</b>	<b>-8,875</b>	<b>-10,415</b>	<b>-13,108</b>	<b>-14,236</b>	<b>-15,131</b>	<b>-15,955</b>	<b>-15,840</b>	<b>-15,436</b>	<b>-15,643</b>	<b>-15,983</b>
石油系	3,471	2,714	3,578	3,313	4,218	3,588	3,862	1,763	1,130	1,136
石炭系	-3,471	-2,714	-3,578	-3,313	-4,218	-3,588	-3,862	-1,763	-1,130	-1,136
ガス系	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	-8,875	-10,415	-13,108	-14,236	-15,131	-15,955	-15,840	-15,436	-15,643	-15,983